

製本のススメ

Vol. 107

春一番が吹いて、いよいよ希望の季節がやってきましたね。街路樹のモクレンも大きく蕾を膨らませています。桜の枝も茶色から少し赤みが出てきたような・・・木々も新芽 街には一年生たち。みんな元気よく育ててほしいですね。

今回は**ちゃんと知っておこう**の話し（見返し編）

知っているよ！と叱られてしまいそうな基本の話ですが、いざとなると、意外に知られていないのが見返しです。一口に見返しと言っても多種多様。一般的な**2つ折りの見返し**から、**巻き見返し** **継（ツギ）見返し** **貼り見返し**と用途に応じ使い分けます。多くの場合2つ折りの簡易見返しで済ませてしまいましたが帳簿や合本・日誌 また特装本などは丈夫であることが一番ですので、必要に応じた見返しを付けます。

見返し紙の役割は**本文と表紙をつなげる事**で、製本では最も重要な部品と言えます。それ故に巻き見返しや貼り見返しなどは、ノドにあたる部分を補強してあります。一般的な上製本においても、その役割は同様ですので 本紙と同じ紙 或いは薄い紙では役に立ちません。上質ならば4/6判 110k～135k コートならば4/6判 135k～220k程度でしょう。昨今ではA4サイズが多くなり本文の重さも増しますので、**用紙の厚みをケチってはいけません！**

さて二つ折りされた見返し用紙ですが、実はそれぞれに名前があります。表紙(表2・表3)に貼りつく側を『**チカラ紙**』隣の本文側を『**遊び紙**』と呼びます。時折 見返しを入れずにペラを1枚前後（又は前のみ）に入れる事があります。この場合は見返しではなく、遊び紙と呼びます。製本加工では、遊び紙と見返し 扉 口絵は、明確に区別されていますので、発注の際には気を付けて下さい。ペラが2枚最初に付きます～なんて、指示を書いても間違いのもとです。次回は ペラと遊び紙と扉と口絵の違いです←え？全部ペラじゃないかって？そう思った人は、もう一度勉強しておきましょう♪



Teabreak

先日 ある出版社から天地寸法が本冊よりも2mm短い腰帯付の冊子を出しました。どうみてもそれはカバーであると思えますが、本冊よりも短いので腰帯であるそうです。カバーまでは作者や装丁者の意図が繁栄されるもので、簡単には変更差し替えができませんが、腰帯はあくまでも出版社側の宣伝であるため容易に差し替えが可能です。他の本よりも目立つ作戦の一つだそうですがそれって、絶対カバーだ！と思うのは自分だけでしょうか？

by (株) 井関製本